

倉吉市地域産業振興戦略会議の概要について

1 会議の目的

本市の地域産業振興戦略を定めた「倉吉市地域産業振興ビジョン」の策定と推進に当たり、市民、事業者及び産学金官の意見を反映することを目的とし設置された会議です。

2 設置根拠

倉吉市くらしよし産業元気条例第6条

3 会議の内容

戦略会議では、倉吉市産業振興ビジョンの進捗状況の管理や成果の評価等、ビジョンの推進に関して必要な事項についての協議を行います。

4 委員の構成

戦略会議は、市長及び市民、事業者及び産学金官の代表者等15名以内で構成します。

《委員構成》

区 分	役 職 名 等
市	市長（産業振興戦略会議代表）
市民の代表者	倉吉市自治公民館連合会の代表
	倉吉市女性人材登録制度
事業者の代表者	市内で事業展開する製造事業者の代表
	市内で事業展開する観光事業者の代表
	市内で事業展開する小売事業者の代表
	新規起業者の代表
産学金官の代表者	倉吉商工会議所の代表
	教育機関の代表（大学教授）
	鳥取県産業振興機構の代表
	市内で事業展開する金融機関の代表
その他	市内で農商工連携に取り組む団体の代表
	農業協同組合の代表

5 委員の任期

就任の日から2年間

6 現在までの経過

① 倉吉市地域産業振興ビジョンの決定 (H22. 8. 3)

戦略会議で策定したビジョンについて、正式決定を行なった

② 第5回戦略会議 (H23. 11. 28 開催)

「倉吉市地域産業振興ビジョン策定後、新たに実施している取り組み」及び「地域産業振興戦略の今後の方向性」について協議。

③ 平成24年度第1回戦略会議 (H24. 12. 21 開催)

「倉吉市地域産業振興ビジョンの進捗状況とその成果」及び「地域産業振興ビジョンの推進に向けた新たな取組」について協議。

④ 平成25年度第1回戦略会議 (H25. 11. 6 開催)

「倉吉市地域産業振興ビジョンの進捗状況とその成果」及び「地域産業振興ビジョンの推進に向けた新たな取組」について協議。

《平成25年度第1回の協議の内容》

- ・ ビジョンの主な取組の成果報告でなく、目標(地域産業振興の方向性、戦略)に対してどのような成果又は効果があったのかを論議する必要がある。
- ・ 全体的にビジョンは5年ごとに見直していくべきではないか。
- ・ 新商品開発支援での倉吉ブランド化の支援の考え方の整理が必要ではないか。
- ・ ものづくり産業振興という点では誘致企業によって産業のすそ野が広がる点からの取り組みについて知りたい。
- ・ 人材確保支援の点から IJU ターンの促進を政策的に戦略的に検討してほしい。
- ・ 農商工連携により新しい加工商品を加工する施設がない。市内業者、企業が加工施設を増設・新設する際の支援が必要ではないか。
- ・ 関金温泉県外の利用だけでなく県内の利用者を増やす取り組みが必要ではないか。
- ・ 観光資源の整備が目標ではなく宿泊施設の観光客が増えることによりどのような効果があったのか、突っ込んだ検証が必要ではないか。
- ・ 倉吉ブランドで開発した物をもっと市民が知り購買する協力の働きかけが必要ではないか。

7 その他資料 (別添)

倉吉市くらしよし産業元気条例